

2024 年第 17 週の報告です。

定点報告対象疾患の**感染性胃腸炎**の京都府の報告数は今週 6.0 件に増加しました。保健所別では、京都市右京区で**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の警報レベルが継続しています。**咽頭結膜熱**は山城南の警報レベルが継続しているほか、乙訓でも報告数が 3.75 件で新たに警報レベルになりました。

全数報告対象の感染症は、**結核**が 5 件、**腸管出血性大腸菌感染症**が 1 件、**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**が 1 件、**急性脳炎**が 1 件、**侵襲性肺炎球菌感染症**が 2 件、**梅毒**が 2 件報告されました。また、眼科定点では**流行性角結膜炎**が 5 件報告されました。

感染性胃腸炎は、夏場は高温多湿であることが影響し、食品中の細菌が繁殖しやすくなり、発症します。京都府でもすでに夏日が観測されていますので、食物管理には注意してください。アウトドアレジャーを楽しむ方も増えるこの時期、食品の十分な加熱処理、生肉生魚等に触れた調理器具の使い分けや十分な消毒や洗浄、手洗いの励行も大切です。

また、嘔吐・下痢の症状がみられた場合は十分に水分摂取をし、脱水を予防してください。飲水が困難な場合は速やかに医療機関を受診しましょう。ご家族などにそのような症状の方が出られた場合は、汚物の処理の際に自身も感染しないよう手袋等を装着したうえで処理をし、処理後の手指消毒も十分に行ってください。